

5 本時の計画

(1)ねらい

適切な助動詞を使って、海外の人が日本で生活する上でのルールやマナーを書くことができる。

【外国語表現の能力】

(2)学習過程 (本時 1 1 / 1 1)

過程	学習活動 学習課題 学び合い	時間	教師の指導上の留意点と評価 評価 学び合いを充実させるための主な支援		
導入	1 あいさつをする。	1	JTL	ALT	
	2 アメリカの生活で注意すべきことを聞き、助動詞の確認をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> Unit 4 で習った助動詞の意味と用法を思い出すことができるよう、英文の一部を穴埋めにして提示する。 書く活動で参考にすることができるよう、各トピックについてのアメリカでのルールやマナーを紹介する。 		
	3 めあてを確認する。	3	<ul style="list-style-type: none"> アメリカに住む友人が日本に来るということを説明し、必要感をもたせる。 		
日本での過ごし方を教えるガイドブックを作ろう！ ゴール：適切な助動詞を使って、日本のルールやマナーを書くことができる。					
展開	4 個人で、与えられたトピックについての日本のルールやマナーを書く。 <トピック> ①レストラン ②家 ③交通ルール・標識 ④緊急時（地震など）	10	<ul style="list-style-type: none"> スムーズに書くことができるよう、未習だが役立つような表現集をタブレットに入れ、全員に配付する。 考えを絞ることができるよう、どのトピックについて書くのかあらかじめ指定する。 		
	例 You don't have to give a tip. You must drive on the left side.				
	5 同じトピックごとのグループになり、個人で書いた英文を共有する。	10	<ul style="list-style-type: none"> 英語によるやりとりで書いた英文を共有できるよう、「自分のワークシートは見せてはならない」というルールを設ける。 英語による意見交換がスムーズに行われるよう、やりとりに役立つフレーズを電子黒板に提示する。 		
6 ガイドブックの清書をする。	15	<ul style="list-style-type: none"> ルールを羅列するだけでなく、「楽しんでください」などの自分なりの一言を加えられるよう、生徒の良い例を取り上げて紹介させる。 			
適切な助動詞を使って、海外の人が日本の生活する上でのルールやマナーを伝える英文を書くことができる。(学習シート)					
終末	7 本時の学習を振り返り、自己評価する。	6	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りの視点②「学習の見通しや方法はどうか」③「学んだことがどんなこと役立つのか」の視点で自己評価させる。 実際に友人に伝えたいと思ったものを取り上げ、生徒の頑張りを称賛する。 		

協議の視点

- 生徒が意欲的に学習に取り組むための、課題やゴールの提示の工夫はどうか。
- ねらいを達成するために、学び合いの場は効果的なものとなっていたか。